

平成9年度大学情報提供事業について

はじめに

大学進学志望者による大学の選択が偏差値情報に過度に依存したり、大学に関する一面的な情報に依存して行われている状況が見られ、これを改善するため、大学進学志望者や高等学校等に大学の教育・研究の内容等に関する正確で質の高い情報を提供するための体制の整備が要請されている。

このような要請を背景に、大学入試センターは、昭和63年度から「大学に入学を志望する者の進路選択に資するための大学情報の提供」業務を行っている。

1 「ハートシステム」による大学進学案内について

昭和63年10月からNTTのキャプテン通信網を通じて、大学情報の提供を行っている。

この進学案内は、大学入試センターが全国582の国公立大学の協力を得て収集した大学情報をデータベース化することにより、大学進学志望者や高等学校の進路指導担当教員がキャプテン通信網を通じて、個々の大学の教育研究に関する情報の入手はもとより、

志望する学部・学科等が全国のどの大学に設置されているかなどの情報を即時に知ることができるシステムである。

(1) ハートシステムの構成について
ハートシステムは、①志望大学の選択、②大学案内、③HEART速報、④入試案内、⑤編入学情報の5つのメニューで提供している。

(2) 提供内容の更新について
ア 個々の大学の教育研究内容等を体系的に整理して提供している「志望大学の選択」及び「大学案内」については、10月1日に一括更新して提供した。

イ 「HEART速報」、「入試案内」及び「編入学情報」については、速報性を持たせ随時更新して提供した。

(3) ハートシステムの普及について
大学入試センター試験説明協議会、全国高等学校長協会総会・研究協議会等の機会を利用して、ハートシステムの端末機等設置の推進について要望した。

(4) 「ハートシステムの改善に関する調査検討委員会」について
国公立大学関係者、高等学校関係

者で構成された「ハートシステムの改善に関する調査検討委員会」を設置し、インターネットを利用した大学の情報の在り方を検討した。

【ハートシステムの高等学校等への導入状況】

平成10年3月末現在の都道府県別導入率〔導入高校／高校数〕

全国の高校等6,065のうち1,570校に導入

1. 岐 阜 80.0%	17. 徳 島 25.5%	33. 静 岡 16.9%
2. 愛 媛 80.0%	18. 大 阪 25.2%	34. 滋 賀 15.9%
3. 山 口 70.4%	19. 鳥 取 25.0%	35. 高 知 14.0%
4. 千 葉 65.5%	20. 島 根 24.1%	36. 愛 知 13.7%
5. 福 岡 62.6%	21. 福 島 23.1%	37. 東 京 13.4%
6. 沖 縄 48.1%	22. 三 重 23.1%	38. 大 分 13.3%
7. 栃 木 44.4%	23. 山 梨 22.8%	39. 長 野 13.0%
8. 山 形 36.5%	24. 富 山 22.5%	40. 岩 手 12.1%
9. 鹿児島 35.9%	25. 和歌山 22.4%	41. 石 川 11.8%
10. 群 馬 34.7%	26. 広 島 22.1%	42. 北海道 11.8%
11. 香 川 34.0%	27. 岡 山 19.5%	43. 宮 崎 11.3%
12. 青 森 33.3%	28. 秋 田 19.4%	44. 宮 城 10.3%
13. 埼 玉 31.4%	29. 熊 本 19.4%	45. 神奈川 8.2%
14. 福 井 30.4%	30. 奈 良 18.3%	46. 佐 賀 7.7%
15. 京 都 28.3%	31. 新 潟 18.0%	47. 長 崎 5.1%
16. 兵 庫 26.0%	32. 茨 城 17.3%	全 国 25.9%

2 「国公立大学ガイドブック」の発行について

「大学案内編」を7月8日、「入学者選抜方法編」を9月12日に発行し、全国の高等学校等に配付した。

3 「大学進学情報一覧」の発行について

全国の国公立大学で作成している入学広報資料等の種類や請求方法等を整理・編集した「大学進学情報一覧－どこに何がある－」を9月8日に発行し、全国の高等学校等に配付した。

4 「大学ガイダンスセミナー」の開催について

大学進学志望者の志望・適性等に応じた適切な進学指導に資するために、大学関係者と高等学校関係者との直接のコミュニケーションを図る場として、大学ガイダンスセミナーを次の9か所で開催した。

開催期日	区 分	参加者	講 演 テ ー マ	意 見 交 換 テ ー マ
10月7日 (火)	千葉県 センター主催	121名	・考古学を学ぶには	・大学の教育内容について
10月1日 (水)	北海道地区 共 催	165名	・狭くなった地球で生きるために ・新たな選抜方法を目指して－大学の苦悩と現状－	・高校教育と大学教育の接点を求めて (分科会方式)
9月19日 (金)	東北地区 共 催	114名	・多様化時代の高校教育と大学教育	・多様化時代の高校教育と大学教育－part 2
8月12日 (火)	新潟県 共 催	118名	・新しい自然観を求めて－新潟大学理学部と大学院自然科学研究科の改革－	・大学の教育内容について
11月18日 (火)	静岡県 共 催	94名	・中国的考え方	・中教審第二次答申とこれからの高校・大学教育の在り方について
8月5日 (火)	岡山県 共 催	138名	・これからの高等教育－変貌する大学－	・21世紀の大学に向けて (分科会方式)
6月12日 (木)	山口県 共 催	82名	・大学における看護学教育・教育学部の現状と展望	・魅力ある大学とは…－高等教育の大衆化時代を迎えるに当たり－
10月24日 (金)	長崎県 共 催	130名	・工学部を取り巻く社会環境と工学部の今 ・21世紀の高校現場のあり方を考える－青年期危機の規定要因－	・変わりゆく大学と学生
11月11日 (火)	鹿児島県 共 催	217名	・国際化時代の生活と法	・大学の教育内容について
計	9地区	1,179名	講演者 12名	

5 「学問探検講座」の開催について

大学教官が専門とする分野についての内容、研究方法、研究成果と社会のつながりや、どこに興味を持って日々研究を重ねているか等の具体的な内容の講演と、大学院生等との意見交換を通し、高校生へ「学問の世界」を照会する「学問探検講座」を広島県で開催した。

◇開催日等

第1回 7月24日(土)〔医学〕

講演者 廣重 力(大学入試センター所長)

生田義和(広島大学教授)

第2回 9月27日(土)〔法学〕

阪本昌成(広島大学教授)

吉川 元(広島修道大学教授)

第3回 10月25日(土)〔工学〕

岡田光正(広島大学教授)

浅田尚紀(広島市立大学教授)

第4回 11月22日(土)〔経済学〕

吹春俊隆(広島大学教授)

池田信寛(広島経済大学助教授)

6 「大学入学広報セミナー」の開催について

国公立大学の入学広報担当者等を対象に、大学における情報提供の必要性の周知と情報提供の質的な向上を図

ることを目的として次のとおり開催した。

◇期日等 平成9年9月25日(木)

午前10時30分～午後4時

◇会 場 有楽町朝日ホール(東京都千代田区)

◇参加者 343名(260大学等)

◇講 演 「実態の改革を促す広報の展開へ－企業広報の現場からの提言」

斉藤典彦(東レ株式会社広報室長)

◇問題提起

「大学が求める学生のタイプと入学広報」

森田康夫(東北大学理学部教授)

◇シンポジウム

「求める学生は得られたか」

司 会 永井順國(読売新聞社論説委員)

川俣甲子夫(札幌国際大学人文・社会学教授)

森田康夫(東北大学理学部教授)

石田昌男(京都学園大学入試課長)

池田英乗(千葉県立安房高等学校教諭)

岩浅宏志(鳥根県立松江南高等学校教諭)

7「進学情報サービス室」の運営について

全国の国公立大学の大学（学部・学科）案内、履修要項、募集要項等の最新の資料を収集し、大学入学志望者や高等学校進路指導担当教員等が閲覧したり、大学紹介ビデオやハートシステムを利用できる「進学情報サービス室」を、次の6地区に開設している。

また、大阪、広島及び福岡の各進学情報サービス室には大学情報相談員を配置し、応談体制の強化を図っている。

- 北海道進学情報サービス室 北海道大学百年記念会館内（平成4年7月1日開設）
- 名古屋進学情報サービス室 名古屋大学広報プラザ内（平成5年9月14日開設）
- 大阪進学情報サービス室 大阪教育大学天王寺キャンパス内（平成5年7月2日開設）
- 広島進学情報サービス室 広島大学東千田町地区法・経済学部校内（平成7年5月16日開設）

- 福岡進学情報サービス室 九州大学創立50周年記念講堂内（平成6年7月13日開設）

- 大分進学情報サービス室 大分大学本部内（平成3年11月28日開設）

8「HEARTニュース」の発行について

主として高等学校進路指導担当教員を対象に、大学情報提供事業についての普及啓発を図ることを目的とする刊行物「HEARTニュース」の第20号～第22号を発行し、全国の高等学校等に配付した。

9「大学情報提供事業に関するモニター調査」について

大学入試センター職員と高等学校教諭とが、フェース・トゥ・フェースにより大学情報提供事業に生の声を反映させるとともに、進学情報サービス室の活性化を図ることを目的とし、大阪府と福岡県の高等学校教諭と大学入試センター職員による大学情報提供の在り方について意見交換を行った。